

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

おいたま次世代住宅ネット

グループの名称

おいたまの家

直近採択グループ番号

05-0005-0804

(グループ代表者)

代表者名

相田 晃輔

代表者印

代表者所属先

相田建設株式会社

代表者所在地

山形県米沢市桜木町2-48

代表者電話番号

0238-23-6510

(グループ事務局)

事務局事業者名

我妻建材工業株式会社

事務局担当者名

渡部 正宏

印

事務局郵便番号

992-0054

事務局所在地

山形県米沢市城西2-3-64

事務局電話番号

0238-22-6078

事務局FAX

0238-22-6046

事務局担当者E-mail

yonezawa@wagatsumakenzai.co.jp

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸	
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
		申請が未確定(上限100万円)		2	戸	
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸	
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸	
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸	
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸	
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸	
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸	
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸	
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸	
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸	
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸	
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸	
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
		申請が未確定(上限100万円)		0	戸	
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸	
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		0	戸		
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸		
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸		
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		0	戸		
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	申請が未確定(上限165万円)		0	戸		
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸		
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	棟	/		
			m ²			
		申請が未確定	4棟			
			600 m ²			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	申請順による。					
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)					
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0 戸 完了実績(竣工予定含む)戸数 0 戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0 戸 完了実績(竣工予定含む)戸数 0 戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)					
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0 戸 完了実績(竣工予定含む)戸数 0 戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0 戸 完了実績(竣工予定含む)戸数 0 戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)					
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0 戸 完了実績(竣工予定含む)戸数 0 戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0 戸 完了実績(竣工予定含む)戸数 0 戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)					
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0 戸 完了実績(竣工予定含む)戸数 0 戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0 戸 完了実績(竣工予定含む)戸数 0 戸
優良建築物型						
当初予算	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0 棟 完了実績(竣工予定含む)棟数 0 戸	
当初予算	採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0 m ² 完了実績(竣工予定含む)床面積 0 m ²	

県 番号	構成員 番号	事業者 番号	事業者名	平成28年(1月~12月)の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金の活用実績		被災地 に該当	ZEHビ ルター に該当	BELS工 務店に 該当					
				元請の 新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅 の実績		うち木造認定低炭素住宅 の実績		うち木造ゼロエネ住宅 の実績		優良建築物の 着工床面積の実績		長期優 良住宅	ゼロエ ネ住宅								
				H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均										
VI	施工-2																						
6	VI - 18	53027	金子建設工業 株式会社	10 戸	11 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1,652 ㎡	1,632 ㎡								
6	VI - 20	53024	太田建設 株式会社	37 戸	33 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	4,995 ㎡	4,645 ㎡								
6	VI - 21	41032	相田建設株式会社	3 戸	4 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	427 ㎡	509 ㎡						○		
6	VI - 23	53025	株式会社 ビンキーホーム	16 戸	15 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1,600 ㎡	1,467 ㎡								
6	VI - 24	40934	株式会社 米住建設	20 戸	21 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	3,000 ㎡	3,167 ㎡	○						○	
6	VI - 25	53026	株式会社 網代建設	7 戸	7 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1,050 ㎡	1,053 ㎡	○						○	○
VI	-			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡								

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) おいたま次世代住宅ネット	(地域型住宅供給対象地域) 山形県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) おいたまの家	(結成年) 2015年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	05-0005-0804	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	夏の暑さ・冬の寒さを緩和する高い外皮性能、積雪の荷重に耐える構造強度。	○
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	夏場の日射の影響を小さくするため、軒の出は通常よりも大きくとる。但し、積雪時の雪下ろしを前提とするため、作業時の安全性を考慮した屋根形状とするなど、安全面での工夫を施していく。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	可能な限り除雪スペースを確保した配置とする。	○
④①～③の背景	置賜地方は、奥羽山脈・朝日連峰・飯豊連峰に囲まれた内陸の盆地である。したがって、夏冬の寒暖の差は激しく、一日のうちでも朝夕の気温差が大きくなる。そのことが果樹の栽培などには適しており、様々な果物の一大産地となっているが、反面、生活するには厳しい条件ともなっている。こうした中で、自然を味わいながら、ゆとりある生活を実現していきたいと思う。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	住宅の履歴情報の管理・リフォーム技術習得等に積極的に取り組む。	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 主要構造部の寸法・規格・材種については、グループとしての共通ルールを定め、当グループの地域型住宅として、あまりばらつきが出ないようにする。	○
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 断熱材・サッシ等については、敢えて種類・製品を限定し、性能の検証をやり易くすると共に、メーカーの協力を得て、コストダウンにも取り組む。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 当初は、構造材やサッシ、断熱材等について標準仕様を設定する。その後、必要とニーズがあれば、設備等についても検討する。	◎
②-1 建材・資材調達の商品化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 資材の調達は、極力グループ内で済ませるようにする。そうすることにより、各メンバーの役割が固まり、外部に対しての窓口機能のあり方も定まってくる。実質的に「調達の共同化」につながるものと思う。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局が、施工側と供給側双方から情報を収集し、もっとも効率的な調達の仕方を選択する。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 生産の合理化等に向けた検討委員会を設置する。検討委員会は代表、事務局を含む5～6名程度とし、定期的に(月一回程度)会合を待ち、グループの活性化を図るものとする。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 施工事業者から予定物件の情報を取得し、木材および流通関連事業者へ情報を整理して流す。また、供給に関する情報(供給状況、日数、コストなど)を施工事業者へ届けることにより、生産体制の強化を図る。	○
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 平成28年省エネ基準を必須、その他の性能についてはフラット35の基準を採用する。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 構造段階、断熱工段階での2度の施工主立会い自主検査。確認書に施工主署名・捺印。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: モデルプランに基づく見積書を検討し、グループ共通の雛形を作成する。(検討委員会)	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局は、常時開放的な機能を発揮し、ローンや税制、リフォーム等の相談窓口となる。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	地域においてグループの知名度を上げながら、エンドユーザーが住宅の性能向上への意識を持つような取り組みを継続していきたい思います。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) おいたま次世代住宅ネット	(地域型住宅供給対象地域) 山形県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) おいたまの家	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	05-0005-0804	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 少なくとも30年間、個々の住宅に関わる点検、補修、リフォーム等の情報の蓄積を義務とする。	○
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 『いえるて』登録の情報サービス機関を利用し、登録証明書を発行してもらう。	○
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 『いえるて』のロゴ入りの登録証明書の提出	○
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 『長期優良住宅化リフォーム推進事業』における「現況検査チェックシート」を利用。	◎
②-2	補修の共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検実施報告書、補修実施報告書の提出。	○
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: リフォームを予定している方々を対象に現在の維持管理体制の紹介などに務める。随時開催。	○
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場見学会に併せて、木工教室等、体験型のイベントを開催する。	○
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場見学会に併せて、住宅ローン、補助制度、税制等の相談会を開催。事務局では常時相談受付。	○
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 当面は検討委員会のメンバーから維持管理担当役員を選出する。	○
⑤	その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 履歴情報システムの機能を活用し、的確な時期で点検を実行する。実施後は報告書提出。	○
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内から後継事業者を指名し、施主の了解のもと、履歴情報等の引継ぎも行う。	○
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 保険法人等、外部講師を招き、勉強会を開催。	◎
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	履歴情報については、個人情報でもあり、扱いの難しい点はあるが、本来のグループと住宅所有者との関係からすれば必要なときにはグループ事務局も履歴情報を確認することができるようにしておくのが望ましい。その方法については今後の課題として検討していく。

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 申請住宅の種類ごとの研修会、申請業務に係るポイント等について随時研修会を行う。	○
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構造階段(樹種・寸法・金物)、断熱工事階段(断熱材種類・厚み・施工状態)を施主と共に確認。	◎
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「立会い確認書」組織を作成し、施主の署名・捺印。事務局へ提出。	○
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定例の検討委員会で需要と供給の情報を検討、弱い部分の強化を図る。	○
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 2020年に向けて、標準仕様として BEI≦0.8 を目指す。	○
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各業種の各メンバーは事務局・メンバー相互に連絡を取り合い、需要関係の改善とコストダウンの工夫を行い、事務局を通じて共通化する。	○
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 10 今年度の参加目標人数 20
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 10 今年度の参加目標人数 20
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局より各メンバーへ講習会スケジュール等の情報を送り、参加を促す。	○
c		
①	新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内で今後の協議により進めていく。	○
②	新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内で今後の協議により進めていく。	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	一次エネルギー消費量等の算定等の研修会をもって、勉強していく。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) おいたま次世代住宅ネット	(地域型住宅供給対象地域) 山形県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) おいたまの家	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	05-0005-0804	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	主要構造材の過半(材積にして50%以上)は地域材(山形県産材・合法木材)を使用すること。羽柄材についても、少なくとも50%は地域材を使用し、グループ内での木材の流通を活性化させる。いうまでもなく、構造材にしても羽柄材にしても、より多く使用する分には問題なし。
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	主要構造材 土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	○原産地が海外である合法木材については、原木供給業者の特定も難しく、書類上の確認も困難である。よって、この場合は一次輸入元の合法木材の取扱事業者証明によって、当該木材の合法性の証明とする。 ○合板の原材料について、すべて県産材であるとしても複数の原木供給業者から工場に入ってくるものを合板の材料として供給業者ごとに分別することは不可能でありナンセンスでもある。したがってこの場合も、原木供給事業者の特定はせず、合板製造業者の県産材合板であることの証明で、地域材の証明とする。
b	①-1 地域材在庫把握の仕組み	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局は、木材関連メンバーと情報共有し、在庫量を常に把握し、施工グループへ情報提供。
	①-2 地域材価格の共有の仕組み	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 検討委員会において確認し、事務局が各メンバーへ価格情報提供。
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局は予定物件の情報を把握し、検討委員会で地域材の需要を予測し、対策を講じる。
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 16 枚 日本古来の畳の部屋を多く取り入れる。
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 坪
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 12 枚 和室での活用。
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 8 枚 和室での活用。
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 置賜地方独自のデザインを取り入れる。
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 置賜地方独自の外観を用いる。
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 古来の建物の近隣の場合、マッチしたデザインとする。
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 自然とのマッチ。
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		
	東日本大震災の復興に資する取組	被災区域の事業者との連携図って行く。
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	検討中

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) おいたま次世代住宅ネット	(地域型住宅供給対象地域) 山形県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) おいたまの家	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	05-0005-0804	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

気候の特性からして、本グループの地域型住宅には特に外皮性能のレベル向上が求められる。したがって、高度省エネ型住宅については強化外皮性能をその基準とする。

地域区分	1	2	3	4	5	6	7	8
H25年UA値基準	0.46	0.56	0.75	0.87		-		
強化UA値基準	0.4	0.5	0.6		-			